

オバマを勝手に応援する会とは・・・



メインタイトル 『バラク小浜 恵まれし街 小浜のために』

サブタイトル 『異質なものに対する理解と寛容』

<平成18年>

オバマ氏来日時に、オバマ氏が税関職員に「私、小浜の出身なんです」と声をかけたエピソードが、テレビで放映されました。

<平成19年1月>

これを受けた一市民が、市長にお礼をしてはいかがと提案し、村上市長は、小浜市の名前を広めてくれたお礼の意味を込めて、礼状と小浜市の英語版パンフレット、そして名産の若狭塗りの夫婦箸を送りました。

それ以来、小浜有志でオバマ候補を応援していこうという機運が芽生え始めていました。

運動について

本会活動が小浜市と周辺文化、モノを見直すきっかけとなることを願い、市民の中に入り、市民とともに、市民のための街づくりを提唱し、市民とともに活動を展開する。

活動について

1. 私たちはアメリカ大統領候補バラク・オバマ氏の応援活動を通して、小浜市の街づくり運動に貢献する。
2. 私たちは隣人の幸せを願う心優しい人が溢れる街づくりを目指しており、そのポリシーはバラク・オバマ氏の『偏見のおろかさや気づき・・・誰もがアメリカンドリームを実現する機会を平等に与えられ、人間として幸せに暮らす権利を当然に行使することが出来る。ともに自由な社会を築く』とする政治姿勢と合致する。よって、オバマ氏を応援する。
3. 私たちは活動を通じて、交流を図り、異質なものに対する理解と寛容を学ぶ。
4. 私たちは活動を通じて、自ら顕在能力を開発し、また、優れた潜在能力を掘り起こす。
5. 私たちは活動を通じて、自ら意思表示と自由な感情表現の方法を知る。
6. 私たちは故郷の歴史を検証する作業を経て、旧き良き時代の遺産と伝承文化を知る。
7. 私たちは団体行動を通じて、市民の一体感を醸成、ネットワーク作りを行う。
8. 私たちは市民の人的交流、意見交流、心の交流の場としてのコミュニティ作りを行う。
9. 私たちは活動を通じて、オピニオンリーダーに相応しい人間性を養う。
10. 私たちは活動を通じて得た成果をそれぞれのコミュニティで街づくりに還元する。